

インターナショナルスクール研究交流セミナー

大学院文学研究科インターナショナルスクール (IS) では、海外から招聘した研究者による講演と、文学研究科の若手研究者による研究発表を通して国際的学術交流を促進する「IS 研究交流セミナー」を開催します。

2014年度の第4回は、ビーレフェルト大学歴史学研究者アーリンクハウス先生のご講演と、石川知明さん(西洋史)による発表がおこなわれます(講演・研究発表・討論は英語)。

教員、UCRC 研究員、大学院生、学部学生のどなたでもご参加いただけます。

日時 2015年3月23日(月) 13:00-17:15

会場 大阪市立大学 経済学部棟2階 第4会議室

主催 インターナショナルスクール 使用言語 英語

講演 フランツ・ヨーゼフ・アーリンクハウス先生(ドイツ・ビーレフェルト大学)

「個性的であることのいま・むかし

—中世ヨーロッパ・ラテン語世界と私たちの「自己(Self)」の表し方

発表 石川 知明(大阪市立大学大学院)

「セオドロス・メトヒティス：使節からメサゾンへ

—アンドロニコス2世帝期外交使節の連続性について」

Program

13:00-14:00

Lecture Session...

Lecture By Professor Franz=Josef Arlinghaus

"Individuality now and then. Forms of Conceptualizing the Self
in Latin Medieval Europe – and today"

Discussion session follows. (5-10 min.)



14:00-14:40

Graduate Colloquium

Mr. Chiaki Ishikawa, History PhD Student (Byzantine History) ...(20min.)

Paper Title, "Theodoros Metochites: From Ambassador to Mesazon
Continuity of Diplomatic Office under Andronikos II."

14:40-15:00

Coffee Break

15:00-15:30

Comments from Prof. Arlinghaus and Discussion on the Student (Ishikawa's) Paper

15:45-17:15

Free Discussion on the Lecture and Colloquium Parts